

2024年11月支部山行【天目山(三つドッケ)】山行報告 グレード☆+

日程：2024年11月17日（日）

場所：天目山（三ツドッケ）1576m

天候：晴れ

参加者：稲越、小玉、田中、塚越、朝井、CL町田、SL宮崎

行程時間：8:05 東日原バス停→10:51 一杯水避難小屋→11:27 天目山→11:54 一杯水避難小屋（昼食）
12:10→13:55 東日原バス停

今回の山行はアクセスがあまり良くなく、早朝集合に加えて帰りのバス時刻が決まっていた為か応募者が少なく、全員で7名でした。朝から晴天に恵まれ、11月とは思えない気温。登り始めの急登から汗が吹き出しました。皆さん山に慣れた方々だったので少々早目のペースでも構わず、杉植樹帯の九十九折をグングン登り、広葉樹が広がる稜線に出たところで一休み。赤く色づいた木々、黄色い葉々の広葉樹が陽を受けて青い空をバックに輝いていました。奥多摩の山々（蕎麦粒山、大岳山、川苔山等）を眺め、色とりどりの落ち葉を踏みしめて（落ち葉下の石や木の根に気を付けて）歩きました。帰りのバス時間を考慮し、昼食や頂上での写真は手早く済ませて下山を開始しました。急な下り坂でしたが転倒することなく全員無事に乗車予定のバスには十分に間に合うよう下山できました。（宮崎）



【参加者の感想】

■**朝井紀久子**：のどかで気持ちの良い紅葉を、会話を楽しみながら味わえた山行でした。秩父と奥多摩の県境に位置する峰々が右にも左にも繋がっていて、中に、2年前、支部山行で担当した蕎麦粒山を見た時、気持ちが高まりました。バス時間を意識して全員が足どりを早めに揃え、皆さんの健脚さに尊敬の気持ちを感じました。

■**塚越和子**：お天気にも恵まれ、秋の奥多摩を十分に味わうことのできた天目山でした。登山道は、歩きやすいのですが、狭く片方が切れ落ちてる道は、緊張しました。青空と紅葉した木々、奥多摩らしい道、落ち葉を踏む足音、全てが揃った山行になりました。

■**小玉和孝**：一週間前の天気予報では雨マークでしたが、段々と天気の良い方向に変わり、当日は小春日和で絶好の登山日になりました。最初は杉林の中を進み、稜線に出たところで目を見張る紅葉に出会うことができました。場所的に時間制限ある難しい山行でしたが、CL、SL 及び皆さんのおかげで、秋を満喫できた大変楽しい山行でした。

■**田中利昌**：初冬の時期に当たりますが、気温 20 度超えのポカポカ陽気での山行でした。ヨコスズ尾根、山頂での眺望も大岳山、川苔山、雲取山や富士山までと、なかなかであり、静かな自然林の中を気持ち良く歩きました。また、紅葉はベストタイミングで、カエデ類、ブナ、ミズナラ等色々な木が生えているので、赤・黄・橙・緑と色彩豊富でとても鮮やかでした。奥多摩も天目山のある長沢背稜まで足を延ばすことは少なかったのですが、今度ゆっくり雲取山まで歩いてみたいと思いました。皆様お世話になりました。

■**稲越洋一**：自分の過去の山行の中で「奥多摩駅からバスで・・・」という行程は、ほとんど無く、休日・早朝、駅前の混雑は驚きました。人気の山域が多いという事でしょうか。天目山は遠く(伊豆ヶ岳辺り)から見ると、三つのピークにより一目で判ります。東日原から登るヨコスズ尾根は非常に歩きやすく、木漏れ日が紅葉／黄葉に映えて快適な登山でした。頂上付近は岩場もあり、眺望が開ける晩秋～初冬がお勧めですね。

■**宮崎則子**：紅葉時期の奥多摩駅バス乗り場は登山客で大混雑でした。途中の川乗橋バス停までのバスは乗客が詰め込み状態でしたが、終点東日原バス停行きのバスは余裕で全員座ることが出来ました。川苔山と天目山は同じバスの路線ですが人気度が違いますね。おかげで天目山登山はほとんど人に会うことも無く、私達独占状態でした。天気は風も無く晴れていたので快適な紅葉登山日和。帰りのバス時間を気にしながらの山行だったので、少々速足で余裕がなかったのが残念でした。

■**町田美春**：澄み渡る秋空の下、皆さんと楽しく山行できました。奥多摩は紅葉の見ごろを迎え赤や黄色が青空に映えとても綺麗でした。11 月も半ばだというのに気温は高く歩くには少々暑かったですが、木陰は涼しく気持ちよかったです。帰りのバスの時間を気にしながらでしたが、無事に下山できバスにも十分に間に合う時間でホッとしました。